

令和7年度のコンソーシアムの活動内容の紹介

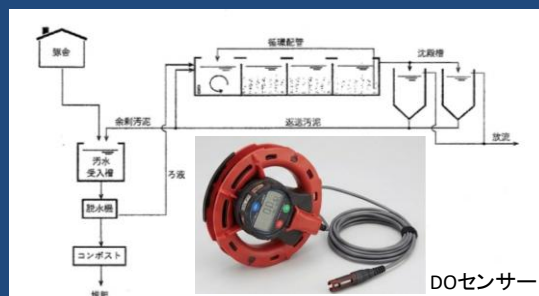
設立趣旨

産学官が参画するコンソーシアムにおける、省エネ・再エネ関連の技術やサービスの開発、社会実装、ビジネスモデルの確立等に向けた取組みを支援することを目的に平成26年9月に設立。令和6年度より「岐阜県エネルギー関連産業コンソーシアム」に改名。〔大学・県内外企業・自治体・個人等 40会員(令和8年3月末時点)〕

活動内容

(1)ワーキンググループ活動支援事業(補助率:1/2以内、補助上限:400万円))

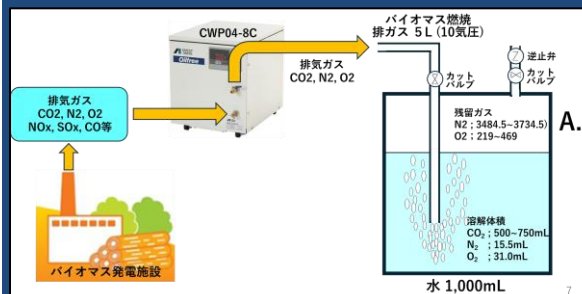
養豚排水処理の適正化研究会



養豚排水処理における曝気運転の効率化

目標: 養豚排水処理における電力コスト削減と排水処理基準の達成

二酸化炭素回収技術開発研究会



炭酸水素カルシウムを用いた低コスト二酸化炭素回収技術の開発

目標: 炭酸水素カルシウムを用いた低コスト二酸化炭素回収技術の開発

Mg系顕熱蓄熱槽事業化研究会



未利用熱の有効利用のため、マグネシアの蓄熱材としての利用を検証

目標: Mg系顕熱蓄熱槽の開発と事業化

補助対象

- 1 調査費: 人件費、旅費、消耗品費、印刷製本費、委託費、会議費、その他(理事長が特に必要と認める経費)
- 2 研究開発費: 人件費、旅費、消耗品費、製品試作費及び性能試験費、委託費、その他(同上)
- 3 フォローアップ事業費: 人件費、旅費、消耗品費、製品試作費及び性能試験費、販売促進費、委託費、その他(同上)

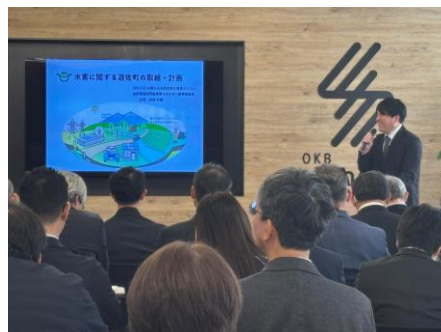
令和7年度のコンソーシアムの活動内容の紹介

活動内容

(2) 講習会等開催事業

エネルギー関連の先進的な研究開発を行う大学や、脱炭素化に向けた企業の取り組みなどを紹介する講習会および見学会を開催する。

令和7年度は、水素による脱炭素化推進セミナーと「e-メタン実証設備」および「水素製造プラント」の見学会を実施した。



水素による脱炭素化推進セミナー
(R7.11.27 OKB岐阜大学プラザ2F)



「e-メタン実証設備」および
「水素製造プラント」の見学会
(R8.2.24 東邦ガス知多緑浜工場)

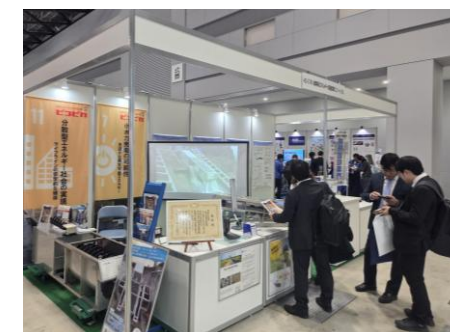
(3) エネルギー関係展示会出展支援事業

WG活動による成果や、会員企業によるエネルギー関連の取組について広く情報発信を行うため、コンソーシアムとして展示会に共同出展を行う。

令和7年度は、Factory Innovation Week2025、メッセナゴヤ2025、EXEX 2026へ出展した。



Factory Innovation Week2025
(R7.10.29～10.31 ホートメッセなごや)



EXEX 2026
(R8.1.28～1.30 東京ビックサイト)

(4) 重点テーマ勉強会

再エネや省エネに関する勉強会等を行うことで、WGの形成や会員企業の事業活動を促進する。

令和7年度は、「地域循環型エネルギーシステム勉強会」を実施した。